

サッカーが、みんなとつながる架け橋になる！！

■ 活動地

広島県

■ 団体名・氏名

広島県インクルーシブフットボール連盟

■ 基本データ

継続年数	4年
活動分野	スポーツ
主な対象	すべて
主な連携先	社会福祉法人, NPO法人, 大学, 企業等
団体の規模等	10名(会長, 副会長, 専務理事他)

活動の概要

「サッカーがみんなとつながる架け橋になる」をテーマに、障害の有無に関わらず誰もがスポーツの価値を享受し、活力ある共生社会の創造のもと、障害者サッカーの普及に努めている。競技大会や体験会等を通じて、障害者と健常者が交流する機会を提供し、社会の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の促進を図っている。

■ 活動内容

広島県における障害者サッカーの総括団体として、連盟内に9つ(アンプティサッカー, ブラインドサッカー, 電動車椅子サッカー, 知的障害者サッカー, CPサッカー, ソーシャルフットボール, デフフットボール, インクルーシブフットボール普及, 医事)の委員会を設置し、事業運営を行っています。

年齢やサッカー経験の有無, さらには車椅子や全盲など障害の種別に関係なく, 障害者も健常者もだれもが一緒にまぜこぜになってサッカーを楽しむイベント「インクルーシブフットボールフェスタ広島」の開催をはじめ, 手話サッカーやウォーキングフットボール等の様々な障害者サッカーの大会・交流イベントの開催, サッカーチームの育成支援, 西日本ブラインドサッカーフェスティバル, 西日本アンプティサッカーフェスティバル, 西日本電動車いすサッカーフェスティバル等の数多くの全国規模の競技大会を主催するなど, 精力的に活動を展開し, 障害の有無や地域を越えて活動の輪を広げています。



写真2 西日本アダプテッドフットボールフェスティバル



写真1 インクルーシブフットボールフェスタ

■ 活動の経緯・体制

広島県内の各団体間の交流や情報交換の機会を設けることや障害者スポーツの社会的信頼の獲得の必要性を背景として, 障害者サッカー支援のネットワーク団体として設立し, 日本障がい者サッカー連盟(JIFF)等と連携しながら, 障害者サッカーの国際的な普及・発展に取り組んでいます。

■ 活動の効果・普及状況

主催事業には障害の有無に関係なく, 未就学年代から高齢者に至るまで4年間で延べ500名以上が参加し, 障害者サッカーの普及・啓発が進んでいます。こうした活動を通じて, 「障害者スポーツ」としての競技が確立されてきており, 誰もが生きる原点に立ち, サッカーを通じて社会とつながるためのきっかけとなっています。

■ その他(団体紹介やホームページのURL等)

広島県インクルーシブフットボール連盟ホームページ
<https://hiff.football/>